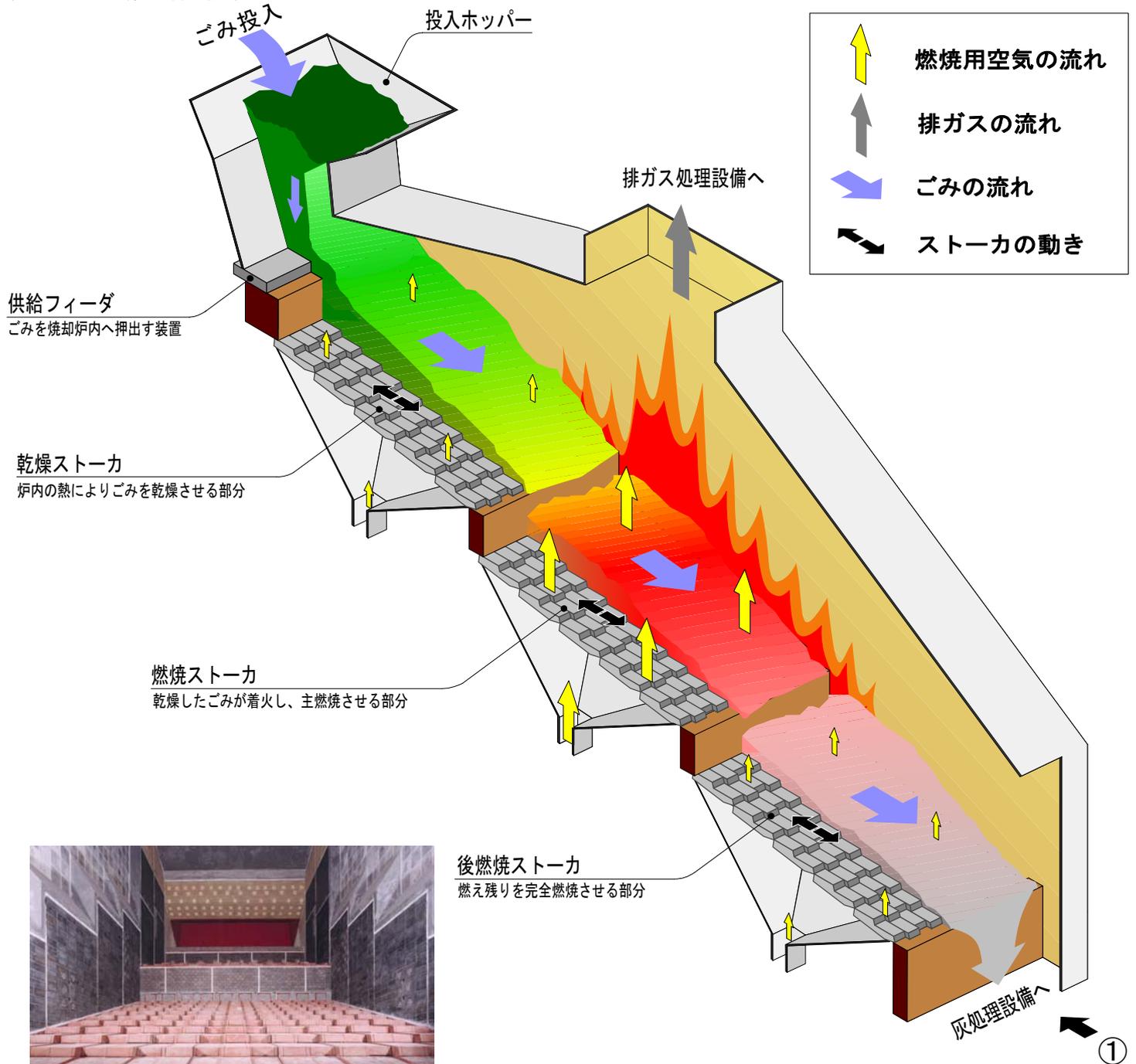


# ストーカ炉の仕組み

ストーカ(火格子)の動きによって、ごみを攪拌・搬送してごみを燃やしています。又、ストーカの下から加熱した空気を送り込んでおり、ストーカの動く早さや空気の温度や量等を調節することで、燃焼を制御しています。一旦、運転を開始すると、3~4ヶ月間24時間連続運転し、その間、燃料(都市ガス)を使わずにごみを燃やしています。但し、運転を開始する時は炉を暖めるために、停止する時はごみを燃やしきるために一時的に都市ガスを使用しています。

## 〈ストーカ炉断面図〉



右図の①付近からみた焼却炉内部の様子

※ 上の絵はイメージです。  
ストーカ炉はメーカーによって、様々な方式があります。